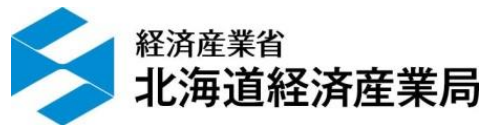


【参考】



北海道内での健康経営の取組事例

2025年3月

経済産業省北海道経済産業局

地域経済部 健康・サービス産業課

「健康経営2024」中小規模法人の認定企業の中から、 取組の効果が出ている事例を当局がヒアリングの上、 まとめましたのでご紹介します。

☆全国健康保険協会（協会けんぽ）北海道支部のウェブサイトにて、健康経営優良法人認定取得の前提となる「健康事業所宣言」実施企業の一覧や取組事例を紹介していますのであわせてご参照ください。



全国健康保険協会（協会けんぽ）
北海道支部ウェブサイト

アイビック食品株式会社（所在地：札幌市）

ネクストブライト1000認定企業



■ 企業概要

- ・ 設立：2002年
- ・ 資本金：5,000万円
- ・ 従業員：52名
- ・ 事業：たれ・だし・スープの製造販売

■ 健康経営へ取り組むきっかけ

- ・ 30年前からグループ内で「3 KM生涯幸福設計シート※」を毎年全従業員が作成。
- ・ 同シートに半分程度健康に関する記載があり、従業員の夢を実現するためには企業が従業員の健康づくりを後押しする必要があるという方針のもと健康づくりに向けた取組を開始。

※ 3 KM = 「個人（Kojin）」「家庭（Katei）」「会社（Kaisya）」の3つのKと、もう一つの3つのKである「健康（Kenko）」「経済（Keizai）」「心（Kokoro）」、「目標（Mark）」「管理（Management）」「意欲（Motivation）」の3つのMにちなんで名づけられたプログラムの総称。

■ 健康経営に関する取組内容

- ・ 社内にスポーツジムやバランスボールを設置したほか、野菜摂取率を高めるため自社製ドレッシングを設置。
- ・ 健康診断でC評価以下が出た場合、再受診を義務付けし診断結果を会社に提出。禁煙率を高めるため、禁煙誓約書を提出させ、家族に同意書へのサインを依頼。
- ・ 他社の健康アプリ等を活用しながら、従業員の健康チェックを実施し健康に関する表彰制度を創設。

■ 取組の効果

- ・ がんの早期発見につながり、一人あたりの医療費が減少。
- ・ 健康経営の取組により求人に対する問合せも増加。

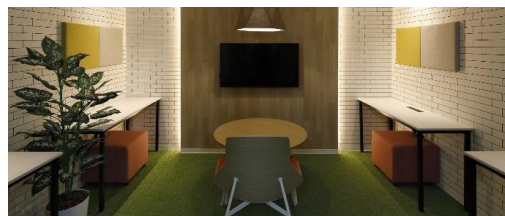


■ 健康経営へ取り組むきっかけ

- ・ 少子高齢化や労働人口減を背景に、社員が心身共に健康で生き生きと稼ぐ100年企業を目指し、健康づくりの推進を「コスト」ではなく「投資」と考え、働き方改革に取り組んできたことで、自然と健康経営優良法人の取得・認定に至る。

■ 健康経営に関する取組内容

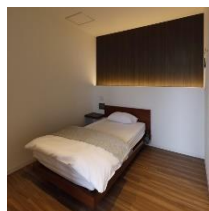
- ・ 健康診断やインフルエンザ予防接種は会社負担。35歳以上は生活習慣病予防検診を会社負担で実施。
- ・ 食に関する社内セミナーを年に2回程度定期的に開催。
- ・ 会社負担でスポーツジムと年契約。社員の家族も利用可能。
- ・ 社内にマッサージチェアやストレッチスペースを備えるリフレッシュルームのほか、リカバリールームやメンタル面談室等を完備。
- ・ 社内でペットロボット「aibo」を飼育。社員の心の癒しに。
- ・ サテライトオフィスやテレワークといった体調に合わせて働く場所を選択できる労働環境を構築。
- ・ 業務の合理化を図り、残業時間を削減。



メンタル面談室
(使用時はブラインドを下げる)



リフレッシュルーム



リカバリールーム

■ 企業概要

- ・ 設立：1947年
- ・ 資本金：2,000万円
- ・ 従業員：49名
- ・ 事業：オフィス用品・DX関連支援事業・オフィス内装工事

■ 取組の効果

- ・ 社員同士のコミュニケーションが生まれ、各々の健康意識が高まる。
- ・ 働き方改革との相乗効果で、業務の効率性、生産性向上に繋がる。また、社員のモチベーションが上がり、様々なアイデアが出るようになり職場の活性化に貢献。



株式会社櫻井千田様 健康づくり研修会 スケジュール

日時	テーマ
① 2021年11月	なぜ「健康経営」に取り組むのか？ 毎日の体調管理について
② 2021年12月	適切な睡眠をとってパフォーマンスアップ
③ 2022年1月	働き世代の食事について バランス編 女性が長く働き続けるための健康投資とは 前編
④ 2022年2月	働き世代の食事について 食べ方編 女性が長く働き続けるための健康投資とは 後編
⑤ 2022年3月	前回までの振り返り 健康習慣について考える
⑥ 2022年4月	職場における熱中症対策

■ 企業概要

- ・ 設立：1949年
- ・ 資本金：3,000万円
- ・ 従業員：59名
- ・ 事業：総合建設業

■ 健康経営へ取り組むきっかけ

- ・ 4年前に重要な業務を担う現場所長が体調不良に。
- ・ 社員の健康問題が相次ぐ中、今のままで100年後も会社が続いていくのかと悩んでいたときに、健康経営の存在を知り、代表自らが取り組みを開始。

■ 健康経営に関する取組内容

- ・ 完全週休2日制を実現し自販機に健康飲料を採用したほか、30歳以上の健康診断の内容を人間ドック並に充実。
- ・ 大塚製薬と連携し、毎月1回、社員向け健康セミナーを継続的に開催。現場の社員向けにオンラインでも開催。
- ・ 遺伝子解析サービスを導入し、自身の潜在的に持っている健康リスクを把握することで、今まで以上の的を絞った健康管理を実現。
- ・ 奈井江町の町おこし協力隊と協力し、コンディショニングセミナーを社内実施。

■ 取組の効果

- ・ 健康経営の取組の結果、離職者が減少。会社が社員を大切にしているという想いが伝わったことが一因。
- ・ 女性が働きやすい会社は採用にも繋がると考え、女性特有の健康課題に関するセミナーに力を入れたところ、逆に男性社員の参加も多く、社内での相互理解が進む。

太平洋設備株式会社（所在地：釧路市）



■ 企業概要

- 設立：1967年
- 資本金：5,000万円
- 従業員：106名
- 事業：建設業

■ 健康経営へ取り組むきっかけ

- 当時の幹部職員が、健康経営に関する新聞記事を見て、自社ですでに取り組んでいる項目が多かったことから、申請をしたところ認定を取得。
- 元々自社の行動指針として社員の健康第一を掲げており、親和性があった。

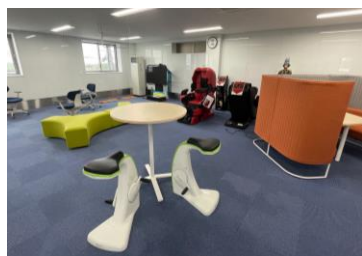
■ 事業承継補助金の活用

- 経営基盤強化のため浜中町の電気設備会社を子会社化。
- 事業承継補助金を活用して、労働環境改善のために休憩室を設置したほか、机や椅子を新調。
- 事務職員や現場担当者からも評判が良く、働きやすさという面で生産性向上に繋がったと認識。

■ 取組の効果

- 社員のメンタルヘルスを重要視し、これまでにハラスメント研修を実施。外部講師を招聘して実施したところ、新入社員の採用や離職率の改善にも繋がるなどの効果。
- LINE WORKSのアンケート機能を活用して、喫煙率の調査と結果報告を実施。全社員に対して調査と結果報告を行うことで、禁煙に対する意識が高まり喫煙率も低下傾向。

株式会社トツキユウ（所在地：岩見沢市）



リフレッシュルーム



社内のヨガ教室で使用

■ 企業概要

- ・ 設立：1959年
- ・ 資本金：2,800万円
- ・ 従業員：約290名
- ・ 事業：運送・倉庫業、エネルギー販売

■ 健康経営へ取り組むきっかけ

- ・ 岩見沢市が健康経営を推進し、市内での気運が高まる中で、当社役員の発案により取組を開始。

■ 健康経営に関する取組内容

- ・ 健康経営アドバイザーの提案のもと、市の公共施設を活用して健康ヘルシー料理教室を開催。
- ・ 岩見沢市内のインストラクターを講師に招聘し、ヨガ教室を社内で開催。全国の社員が参加できるよう、ライブ配信も実施。料理教室やヨガ教室は、従業員の家族も参加可。
- ・ 健康は体・心・お金の三本柱からなると考え、資産形成等について学ぶ金融セミナーも3ヶ月に1回程度開催。

■ 取組の効果

- ・ 全国に事業所があるため、岩見沢の本社ばかりが取組を進めると地域差が発生することを懸念していたが、コロナ禍を通じてリモートでも健康経営の取組ができるようになり、全国で取り組むことが可能に。
- ・ 名刺に健康経営のロゴマークを入れることで、企業PRに繋がっている。